

13 市民スポーツの振興			
14 市民スポーツの振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課		
主管課長名	小柳 邦法	電話番号	042-481-7038
関係課名 (組織順)	福祉総務課, 高齢福祉担当, 障害福祉課, 健康推進課, 緑と公園課, 指導室, 社会教育課		
目的	対象	市民	
	意図	誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる スポーツを通して交流がはぐくまれる 誰もがスポーツを通して心身ともに健康になる	
施策の方向	年齢や障害等を問わず、広く市民がスポーツに親しみ、楽しめる環境を整備します。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承・発展させ、スポーツを通して市民の交流が盛んになるまちを目指します。		

<施策と関連するSDGsの目標（ゴール）>



**1 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の振り返り — 取組実績（DO）**

**◆ 令和4年度における取組実績の振り返り**

施策の成果向上に向けた主な取組実績 【前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の基本的取組毎に記載】
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）
<p><b>（13-1 スポーツ環境の整備）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう、調布基地跡地運動広場A4・E1グラウンドの整備工事を実施する等、施設の整備・維持管理を実施した。</li> <li>大町スポーツ施設大運動場の改修工事を実施し、利用環境の向上を図った。</li> <li>各施設において新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで市民が安心してスポーツに親しむ環境づくりに取り組んだ。</li> <li>調布市体育協会（現調布市スポーツ協会）による総合体育館の維持管理やセブンプログラムの効果的な実施により、コロナ禍の中においても多くの市民がスポーツに親しむ機会を創出するとともに、施設の効率的かつ効果的な活用を図った。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「国際・全国スポーツ大会出場報奨金」について卓球やバドミントンなど42件の報奨金を交付し、次世代アスリートを支援した。</li> </ul>
<p><b>（13-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調布市体育協会の「リフレッシュ体操スクール事業」では、感染対策を万全に講じた中で市内8会場29クラスを実施し、市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。</li> <li>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策と事業運営の両立を図りながら、市民体育祭、市民スポーツまつり、市民駅伝競走大会などの主要事業が全て開催された。市民体育祭は各競技における新型コロナウイルス感染症対策は継続した中で、全30競技全てを開催し、6959人の市民が参加した。市民スポーツまつりも事前募集型に加え、従来の自由来場型のアクラクションも複数実施し、3958人の市民が参加した。市民駅伝競走大会は3年ぶりの開催となり、248チームが参加した。また、誰もが知るプロフェッショナルとして、元プロ野球選手の岩隈久志氏をゲストとして招き、競技への興味・関心を高め、スポーツに接する機会を創出することを目的として「CHOFUドリームプロジェクト」と題し、子ども野球教室を実施した。こうした取組を通じて、広く市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図った。</li> <li>学校開放事業では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、体育館・校庭等の開放を行うことで、市民のスポーツ等の活動を行う場の提供を行った。</li> <li>東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会や各競技団体、プロスポーツチーム等と連携し、市民がスポーツを「する」「みる」「支える」機会を創出した。</li> </ul> <p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都、障害福祉課等と連携して設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」において、東京都のモデル事業として事業を実施し、障害者スポーツの振興を図った。</li> <li>調布市体育協会、教育委員会指導室と連携し「ジュニア陸上体験教室」を開催、子ども達のスポーツへの関心を高めるとともに、体力の向上を図った。</li> <li>多摩地域の広域連携事業である「東京都市町村ポッチャ大会」を3年ぶりに開催した。都内の27市町村と連携し、48チーム約200人が参加し、インクルーシブスポーツの普及を図った。</li> </ul> <p><b>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会から1年の機会を捉え、大会開催の意義、感動や記憶を共有するとともに、大会を通じて生まれた様々なレガシーを活用し、そのレガシーを未来につなげていくことを目的に、調布サマーフェスティバル</li> </ul>

2022を実施した。

- ・調布市ラグビーフットボール協会、教育委員会指導室と連携して実施した「小学生タグラグビー大会」の実施
- ・府中市・三鷹市と連携して「三市ラグビーフェスティバル」及び5者協定を締結した東芝プレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのホスト試合における「市民招待事業」を実施した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

- ・「調布市障害者スポーツの振興における協議体」の活用による障害当事者の運動機会の確保や、障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めた。
- ・東京2020大会を契機に関係性を構築してきた様々な主体と連携し、障害者スポーツ体験会を実施した。
- ・特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会や、日本財団パラスポーツサポートセンターとの連携により、市立小・中学校へのパラリンピック教育プログラムを実施し、パラスポーツの普及・啓発と障害理解の促進を図った。

②調布のまちの魅力発信

- ・スポーツ振興課のSNS (Twitter) において、調布市体育協会や調和SHC倶楽部などのスポーツ関連事業を配信することで、スポーツを通じたまちの魅力を発信することができた。

(13-3 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進)

- ・FC東京と連携したスポーツ振興を図るため、庁内のプロジェクトチームや庁内関係部署との情報交換会を活用し子どもサッカー体験教室や初心者フットサル教室等のスポーツ分野の事業のみならず、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等の様々な分野でFC東京との連携事業を実施した。とりわけ、ホームゲーム開催に併せて「青赤ストリート」を開催し、地域一体となって試合を盛り上げ、地域の活性化を図った。
- ・東芝プレイブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京と連携し、市民スポーツの振興を図った。
- ・読売巨人軍やNTT東日本バドミントン部など各種スポーツ団体とも連携した事業を実施した。

①横断的連携による施策の推進

FC東京の株主であるホームタウン6市を取りまとめ、FC東京の応援企画を実施し、地域全体のスポーツ振興を図った。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・NTT東日本バドミントン部との連携事業として、NTT東日本バドミントン部地域感謝祭を実施し、120人の小学生が参加した。
- ・東芝プレイブルーパス東京との連携事業として、小学生タグラグビー大会やほりて〜ぷらん等を実施した。
- ・府中市、三鷹市と連携し、東芝プレイブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京のホストエリアとして、地域からの盛り上げとラグビー競技の普及啓発事業を実施した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

- ・日本車いすバスケットボール連盟や日本ブラインドサッカー協会との連携を密にし、様々な事業展開を図った。

②調布のまちの魅力発信

- ・スポーツ振興課のSNS (Twitter) において、FC東京をはじめとしたプロスポーツとの連携事業やスポーツ振興事業等を配信することで、スポーツを通じたまちの魅力を発信することができた。

◆ (参考) 令和元年度～令和3年度における施策の成果向上に向けた主な取組実績

- ・公共建築物維持保全計画を踏まえ市民が安全で快適に利用できるよう、施設の整備・維持管理を実施した。
- ・各施設において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、市民が安全に安心してスポーツに親しむ環境づくりに取り組んだ。
- ・調布市体育協会による総合体育館の維持管理やバリアフリー化等への適切な対応のほか、セブンプログラムの実施など、コロナ禍でも市民がスポーツ活動をできる機会を創出するとともに、施設の効率的かつ効果的な活用を図った。
- ・調布市体育協会の「リフレッシュ体操スクール事業」では、市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。
- ・調布市の三大スポーツイベントである調布市民体育祭、市民スポーツまつり、調布市民駅伝競走大会では、多くの市民が参加し、市民へのスポーツの振興に寄与した。
- ・学校開放事業では、体育館・校庭等の開放を行うことで、市民のスポーツ等の活動を行う場の提供を行った。
- ・スポーツ推進委員会では、ニュースポーツや障害者スポーツの普及による市民スポーツの振興を図った。
- ・ラグビーワールドカップ2019や東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会や各競技団体等関係団体と連携し、様々な事業を実施することで、市民がスポーツを「する」・「みる」機会を創出した。
- ・FC東京と連携したスポーツ振興を図るため、庁内のプロジェクトチームや庁内関係部署との情報交換会を活用し子どもサッカー体験教室や障害者余暇活動支援事業などスポーツ分野のみならず、文化、青少年の健全育成、福祉、地域経済活性化等の様々な分野でFC東京との連携事業を実施した。
- ・読売巨人軍やNTT東日本バドミントン部、LIXILディアーズ（現胎内ディアーズ）等各種スポーツ団体とも連携した事業を実施した。
- ・東芝プレイブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京、府中市、三鷹市と五者による連携協定を締結し、ラグビーを通じた市民スポーツの振興を図った。

施策における2つのアクション(①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)の視点に基づく主な取組実績

- ・障害福祉課、東京都、東京都障害者スポーツ協会と連携して設置した福祉分野とスポーツ分野の関係者による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」において、東京都のモデル事業として協議体メンバー向けの講演会及び市内の福祉作業所への講師派遣による障害当事者の運動機会確保に向けた取組を実施した。
- ・東京2020大会を契機に関係性を構築してきた様々な主体と連携し、障害者スポーツ体験会を実施した。
- ・調布市体育協会、指導室と連携し、市内在住・在学の中学生を対象にした「中学生走り方教室」を開催、トップアス

リートによる「走り方」指導等を通じて、生徒のスポーツへの関心を高めるとともに、体力の向上を図った。

- ・調和SHC倶楽部とスポーツ推進委員会と連携し、「東京都市町村ポッチャ大会」の予選会も兼ねたポッチャ交流会を実施し、パラリンピックを契機とした多摩地域のポッチャの普及に寄与した。
- ・障害者スポーツへの理解と普及を目的に「FC東京×ブラインドサッカー(R)講演会」を実施した。
- ・各競技団体や関係団体と連携した事業や動画配信等の実施
- ・府中市・三鷹市と連携した「三市ラグビーフェスティバル」の実施
- ・「FC東京のまち調布」として、FC東京がJリーグYBCルヴァンカップファイナルへ進出したことに伴い、対戦相手のホームタウンである柏市や、FC東京ホームタウンの三鷹市・府中市と連携した応援企画を実施したことで、市内のみならず、各市が連携してスポーツ機運の醸成を図ったほか、市内外に向け「FC東京のまち調布」をPRすることができた。
- ・東京2020大会期間中では、大会関連事業のオンラインへの転換など柔軟な対応を図り、これまで関係性を構築してきた様々な主体と連携した大会の盛り上げを通じ、調布市の魅力を発信した。
- ・NTT東日本バドミントン部との連携事業として、市内中学校バドミントン部へのオンライン指導を実施した。
- ・東芝プレイブルーパス東京との連携事業として、小学生タグラグビー大会やほりて〜びらん等を実施した。
- ・東芝プレイブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京との連携事業として、東京2020大会期間中のオンラインイベント、令和4年市報新春号のFC東京も交えたインタビュー記事の掲載等を実施した。
- ・日本車いすバスケットボール連盟や日本ブラインドサッカー協会との連携を密にし、様々な事業展開を図った。
- ・FC東京と連携した「おかえりトーキョー」企画では、市内小学校や児童館をはじめ子ども達や多くの市民による応援動画を制作、市内各所や味の素スタジアムで配信するなど、市全体での応援機運を盛り上げることによる市民スポーツの振興や市外への「FC東京のまち調布」のPRを図った。

### ◆まちづくり指標の現状把握

まちづくり指標	単位	実績値				目標値	指標の推移*
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
1 体育施設の年間利用者数	人	91万7,430	76万4,987	80万1,908	86万7,723	107万	○
2 運動を週に1回以上行っている市民の割合	%	62.8	60.6	71.0	68.9	70.0	▼
3 FC東京と連携したスポーツ事業の参加者数	人	523	263	257	637	900	○

※令和4年度における指標の推移は、以下の区分により記号を記入

◎：目標値を達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ）  
 -：数値未把握（調査未実施など）

### ◆指標でみる後期基本計画期間内（令和元年度～令和4年度）の達成状況

各指標の達成状況及び説明	
No.	指標名
説明（目標達成・未達成の要因、課題、今後の取組の方向等）	
1	<b>体育施設の年間利用者数</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度及び3年度に比べて向上しており、更衣室等で利用人数制限している中、目標を概ね達成した。</li> <li>・コロナ対策の人数制限・体調確認チェックリストの事前提出を実施しており令和元年度を下回った。</li> <li>・引き続き、施設の老朽化への対応等の整備や利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努める。</li> <li>・調布市公共施設マネジメント計画に基づき適切に管理・修繕を行い、利用環境の向上に努める。</li> </ul>
2	<b>運動を週に1回以上行っている市民の割合</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に続き高い水準のスポーツ実施率となっている。</li> <li>・引き続き、コロナ禍においても様々な主体と連携し、様々な手法でスポーツに親しむ機会の創出を図っていく。</li> </ul>
3	<b>FC東京と連携したスポーツ事業の参加者数</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響により、事業の中止や縮小が相次ぎ、事業への参加者数は低い状況が続いていた。令和4年度は、目標値にこそ届かなかったものの、コロナ禍前の水準以上まで戻っている。とりわけ、新規事業として実施した「青赤ストリート」や、関係各課とFC東京の連携した事業の実施など、事業参加者数が計測できないものも多く、実際には実績値以上の成果があったものと認識している。引き続き、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等の様々な分野でFC東京との連携事業を推進していく。</li> </ul>

《参考》前期基本計画（令和5年度～令和8年度）における「まちづくり指標」

まちづくり指標	まちづくり指標の考え方	単位	基準値	目標値
体育施設の年間利用者数	効率的・効果的な維持管理・運営により、より多くの市民が安全で利便性の高いスポーツ施設でスポーツ活動を楽しめることを目標とした。	人	80万1,908 令和3年度	106万 令和8(2026)年度
運動を週に1回以上行っている市民の割合	これまで、気軽にスポーツや健康づくりに参加できる機会を提供することで、東京都スポーツ推進総合計画(平成30年3月策定)に掲げられた「都民(18歳以上)のスポーツ実施率」の目標値70パーセントまで増加させることを目標としていたが、令和4年度の現状値を踏まえ、割合を向上させる目標とした。	%	69.0 令和4年度	73.0 令和8(2026)年度
FC東京と連携したスポーツ事業の参加者数	FC東京のみならず、様々な主体との連携によるまちづくりという視点を踏まえ、他課連携事業も含めた連携事業数を指標とし、その数を増やすことを目標とした。	件	39 令和3年度	180 (4箇年累計) 令和5(2023)年度～令和8(2026)年度

## 2 令和4年度の振り返り及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の取組状況 — 評価（CHECK）

### ◆ 施策の成果向上に向けて、令和4年度及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に実施した取組に対する評価

総合評価 (令和4年度)	A	S:「実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A:「実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B:「実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C:「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D:「実施した取組において成果が得られなかった。」
総合評価理由	令和4年度における施策の成果についての総括（総合評価の理由） <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえでスポーツ施設を開設し、市民が安心して安全にスポーツに親しむ環境づくりに取り組んだ。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策と事業運営の両立を図りながら、調布市体育協会や競技団体等様々な主体と連携し、継続した運動機会を提供するとともに、市民の健康維持増進に努めた。</li> <li>東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会やプロスポーツチーム等と連携し、市民がスポーツを「する」「みる」「支える」機会の創出を図った。</li> </ul>	
総括評価 (令和元年度から令和4年度)	A	S:「計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A:「計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B:「計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C:「計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。」 D:「計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。」
総括評価理由	後期基本計画（令和元年度～令和4年度）における施策の成果についての総括（総括評価の理由）／今後に向けた課題・懸案事項 (総括) <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の整備について、バリアフリー対応や空調設備設置等、利用環境の向上に努めた。</li> <li>報奨金制度について、国際大会出場の人・団体も対象とするよう制度改正したことで、多くのアスリートを支えることができた。また、応援アスリート事業を新たな枠組みとして整理することで、アスリートを支援する取組の拡充を図った。</li> <li>東京2020大会等を契機としたスポーツ振興において、様々な主体との関係性を構築し、連携事業を実施することで、多くの市民がスポーツに親しむ機会の創出が図れた。</li> <li>東京都のモデル事業として設置した調布市障害者スポーツの振興における協議体を活用した障害当事者のスポーツ機会の創出や日本車いすバスケットボール連盟、日本ブラインドサッカー協会等と連携した体験会等事業の実施により障害者スポーツの振興が図れた。</li> <li>FC東京はもちろんのこと、新たにNTT東日本、読売巨人軍、東芝プレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアスと連携したスポーツ振興事業を実施することができた。</li> </ul> (課題・懸案事項) <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響により、スポーツ施設の利用者数は減少したが、令和2年度を底に、徐々に利用者数は回復基調にある。今後、コロナ前の水準まで利用者数を戻せるよう、引き続き感染防止対策を講じながら、施設の有効活用と活動場所の確保に努める。</li> </ul>	

**3 中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)**

**◆施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向**

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	<p>①e スポーツについて、国民体育大会では、愛媛大会（2017年）、福井大会（2018年）、茨城大会（2019年）の文化プログラムとして実施。スポーツ庁は明確な方針を明らかにしていないが、経済産業省では e スポーツの発展に向けた取組を実施。</p> <p>②スポーツ庁は、令和4年3月に策定した「第3期スポーツ基本計画」において、スポーツ界におけるDXの導入（VR・ARや先進的なデジタル技術等を活用した、新たなスポーツ実施機会の創出、選手強化活動における分析や支援など）を位置付けている。</p>	<p>①③国や都の動向を踏まえ、障害の有無に関わらずスポーツに親しむ手法の1つとして検討を進める。</p> <p>②④スポーツ施設の利用方法や事業の実施手法等、様々な観点からDXを活用した効率的な運営方法を検討していく。なお、令和3年度にはNTT東日本バドミントン部との連携事業において、中学生へのオンライン指導の事業を試験的に実施した。</p> <p>⑤⑦「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を引き続き活用し、障害者の運動機会の創出を図るとともに、各競技団体や市内関係団体等と連携し、スポーツを通じた共生社会の充実を図る。</p> <p>⑥地元三市（調布市・三鷹市・府中市）の東京都への要望などを念頭に、運営や事業への地元ニーズの反映に向け、引き続き、東京都をはじめ、指定管理者である東京都障害者スポーツ協会と協議を行う。</p>
東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都では産業労働局による「東京eスポーツフェスタ」を開催。</p> <p>④東京都は、都立公園スポーツ施設のキャッシュレス決済を2021年10月から開始</p> <p>⑤障害者スポーツの振興を通じた共生社会の充実に向け、調布市をモデルとした調布市障害者スポーツの振興における協議体の設置を各市区町村に広めるべく、補助金を新設。</p> <p>⑥東京都は、令和4年度に、パラスポーツの競技力向上の拠点として、また、障害のある人もない人もパラスポーツに親しむことのできる普及振興の場として、味の素スタジアム内の調布庁舎にパラスポーツトレーニングセンターを開設した。（指定管理者：東京都障害者スポーツ協会）</p>	
その他	<p>⑦東京2020大会のレガシーとして、パラハートちょうふの取組を庁内の横断的な連携により、より一層推進していく必要がある。</p>	

**◆前期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）における中長期的な取組の方向**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「する・みる・ささえる」スポーツ環境の充実</li> <li>・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会のレガシーの継承・発展</li> <li>・プロスポーツチーム等と連携したスポーツ振興</li> <li>・スポーツを契機としたにぎわいの創出</li> <li>・多様な主体におけるスポーツの機会創出</li> <li>・障害者スポーツの振興・スポーツを通じた共生社会の充実</li> <li>・多様な主体と連携したスポーツの場の確保・充実</li> <li>・スポーツ指導者の育成と資質向上</li> <li>・アスリートの育成・支援</li> <li>・スポーツボランティアの発掘・育成・定着に向けた取組</li> </ul>	
<p>施策の推進、成果向上の視点を踏まえた具体的な取組</p>	
デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スポーツ施設の利便性の向上に向けたキャッシュレス決済の導入を検討</li> <li>・SNSを活用した情報発信の充実</li> <li>・施設の利便性向上に向けた施設利用予約システムの更新</li> </ul>
共創のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FC東京をはじめとしたプロスポーツチームなどの様々な主体と連携し、市民がスポーツを「する」「みる」機会を充実させ、スポーツに親しめるよう、市民スポーツの振興に取り組む。</li> <li>・民間企業やボランティア団体等との連携により、市内で開催されるスポーツ大会やイベント等において、市民が支え、交流する機会を創出し、オール調布でスポーツ機運を高めることによる市民スポーツの振興を図る。</li> </ul>
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備改修・修繕と併せて、照明設備のLED化などスポーツ施設の省エネ化を推進する。</li> </ul>
フェーズフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時協力協定に基づく災害時のスポーツ施設の活用について、備蓄品の整備や対応マニュアルの作成等に取り組む。</li> </ul>

施策13「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	48	重点P		—		
	事務事業	スポーツ施設の整備				総合戦略	●
後期※	計画コード	45	重点P		—		
	事務事業	スポーツ施設の整備				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係							
<b>事業概要</b> ○市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう維持保全及び改修等を行う。 ○スポーツ施設の再配置、整備を検討する。 ・総合体育館・西調布体育館・テニスコート（緑ヶ丘・多摩川・深大寺） ・調布基地跡地運動広場・市民野球場・市民プール・大町スポーツ施設 ・西町野球場及び少年野球場・西町サッカー場 ・多摩川児童公園内運動施設及び各ゲートボール場 ○スポーツ施設の利用環境向上に向けた対応（利用料収納におけるキャッシュレス決済導入検討など）							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○既存施設の維持保全・改修 ・総合体育館 ・西調布体育館 ・市民プール ・多摩川テニスコート ・緑ヶ丘テニスコート	○既存施設の維持保全・改修	○既存施設の維持保全・改修	○既存施設の維持保全・改修	○既存施設の維持保全・改修
			総合体育館整備 西調布体育館等設計委託 基地跡地運動広場整備 大町スポーツ施設整備 その他施設修繕 等	総合体育館整備 ・劣化度調査業務委託 西調布体育館等設計委託 ・西体等解体設計委託 基地跡地運動広場整備 ・A4・E1他整備工事 大町スポーツ施設整備 ・大運動場改修工事 その他施設修繕 等
事業費（千円）		100,000	118,791	126,908
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	-------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	市民が安全で快適に利用できるよう、施設の整備・維持管理を実施した。 ※修繕件数：26件（市民西町サッカー場夜間照明ランプ修繕ほか） ※工事関係：調布基地跡地運動広場A4・E1グラウンドほか整備工事 調布基地跡地運動広場D1・D2グラウンド土留め築造工事 調布市総合体育館劣化度調査業務委託 調布市総合体育館プール天井部材調査業務委託 調布市富士見町防災備蓄倉庫ほか6施設解体ほか工事設計業務委託 調布市民大町スポーツ施設管理棟天井照明設備改修工事 調布市民大町スポーツ施設火災報知盤更新工事 調布市民大町スポーツ施設大運動場改修工事 調布市総合体育館照明制御設備更新工事（令和3年度繰越明許） 調布市総合体育館エントランス外部床タイル張替え工事
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ACTION】

今後の方向	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
今後の取組の方向	今後も快適で安全な魅力あるスポーツ施設とするため、利用者ニーズに沿った利用環境の向上に努め、施設の保全・改修等を行う。 施設の老朽化対応、安全確保を踏まえた今後の改修について、特定財源の確保にも努めながら、市民要望も踏まえて検討・調整に取り組む。

施策13 「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	49	重点P	—			
	事務事業	調布市スポーツ協会事業の支援				総合戦略	●
後期※	計画コード	46	重点P	—			
	事務事業	調布市体育協会事業の支援				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係							
<p>事業概要 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の理念に基づき、(公社)調布市スポーツ協会への支援や相互の連携を密にすることにより、市における体育・スポーツの振興を目的とした事業を行う。</p> <p>調布市の三大スポーツイベントである市民体育祭、市民スポーツまつり、市民駅伝競走大会をはじめとしたイベント等の開催を通じて、誰もが気軽にスポーツに参加する機会を提供し、運動初心者からトップアスリートまでスポーツに関する多様な市民ニーズに対応し、一人一人が年齢や体力等に応じて身近な地域で活動できる環境づくりを進めていく。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画(令和5年度～令和8年度)、後期の欄には後期基本計画(令和元年度～令和4年度)の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容(事業費ベース)	計画目標	令和4年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会等  ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進	○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会等  ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進	○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会等  ○東京2020大会等を契機とした「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進	○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会等  ○東京2020大会等を契機とした「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進	○調布市体育協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール ・フットサル大会等  ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進
事業費(千円)		40,085	37,564	36,142
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	-------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	<p>「リフレッシュ体操スクール事業」では、会場の面積等で人数制限を行い、感染対策を完全に講じた中で市内8会場29クラスを実施し、市民の運動習慣のきっかけづくりに寄与した。</p> <p>「市民体育祭」は各競技における新型コロナウイルス感染症対策は継続した中で、全30競技全てを開催し、6959人の市民が参加した。</p> <p>「市民スポーツまつり」では、コロナ禍になって事前募集型中心の開催としていたが、従来の自由来場型のアトラクションも複数開催し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の機会を創出した。また、オリンピックやパラリンピアンによるトークショーを開催するなど、障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ機運の醸成を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続き、3年ぶりの開催となった「市民駅伝競走大会」では、248チームが参加した。</p> <p>施設の休館や利用制限がある中においても、継続した運動機会の提供により、市民の健康維持増進に努めた。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 財政面改善	<input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	------------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

今後の取組の方向	<p>(公社)調布市体育協会との連携を密にしながら、東京2020大会レガシーとして大会を契機としたスポーツ機運を定着・継続させるため、子どもから高齢者まで障害の有無に関わらずスポーツに親しむ機会の創出や環境づくりに取り組み、市内におけるスポーツ振興や市民の健康増進及び体力向上を図っていく。また、事業実施に当たっては、これまで市が構築してきた競技団体やプロスポーツチーム等の様々な主体との連携を活用し、内容のさらなる充実を図る。</p> <p>調布市の三大スポーツイベントである市民体育祭、市民スポーツまつり、市民駅伝競走大会をはじめとしたイベント等の開催を通じて、誰もが気軽にスポーツに参加する機会を提供し、運動初心者からトップアスリートまでスポーツに関する多様な市民ニーズに対応し、一人一人が年齢や体力等に応じて身近な地域で活動できる環境づくりを進めていく。</p>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策 13 「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	50	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち		
	事務事業	東京2020大会等のレガシーの継承・発展				総合戦略	●
後期※	計画コード	47	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち		
	事務事業	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係							
<p>事業概要</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを活用した事業展開を図り、様々な角度から市民スポーツの振興を図る。</p> <p>とりわけ、障害者スポーツの振興においては、障害理解の促進や障害当事者のスポーツ機会の創出を図り、共生社会の充実を目指す。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▷DO▷CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	ラグビーワールドカップ2019日本大会・東京2020大会を契機として、国や東京都、関係団体等の多様な主体と連携し、市のまちづくりへの多面的な効果を創出していく中で、とりわけパラリンピック開催を契機とした障害者スポーツの振興に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大会を契機としたスポーツ振興</li> <li>○レガシー・継続したスポーツボランティアの育成や活用の検討</li> <li>○関係団体との連携による誰もがスポーツに参加できる機会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者スポーツ体験会</li> <li>○障害者スポーツの振興における協議体事業</li> <li>○ジュニア陸上体験教室</li> <li>○東芝・サントリーとの連携事業</li> <li>○NTT東日本バドミントン部連携事業</li> <li>○日本車いすバスケットボール連盟、日本ブラインドサッカー協会連携事業</li> <li>○東京都町村ポッチャ大会</li> <li>○ラグビー三市連携事業</li> <li>○サッカーW杯PV等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者スポーツ体験会</li> <li>○障害者スポーツの振興における協議体事業</li> <li>○ジュニア陸上体験教室</li> <li>○東芝・サントリーとの連携事業</li> <li>○NTT東日本バドミントン部連携事業</li> <li>○日本車いすバスケットボール連盟、日本ブラインドサッカー協会連携事業</li> <li>○東京都町村ポッチャ大会</li> <li>○ラグビー三市連携事業</li> <li>○サッカーW杯PV等</li> </ul>
事業費（千円）		10,500	10,600	9,169
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 実績評価 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

説明

東京2020大会を契機としたスポーツ振興を図るため、調布市体育協会等の関係団体や、日本車いすバスケットボール連盟等の競技団体、プロスポーツチーム等の様々な主体と連携し、多くの連携事業を実施することで、市民がスポーツを「する」・「みる」・「支える」機会を創出した。

調布市体育協会、指導室と連携した「ジュニア陸上体験教室」の実施により、子どもの体力向上を図った。多摩地域の広域連携事業である「東京都町村ポッチャ大会」を3年ぶりに開催した。都内の27市町村と連携し、48チーム約200人が参加し、インクルーシブスポーツの普及を図った。

調布市ラグビーフットボール協会、指導室と連携して実施した「小学生タグラグビー大会」や障害福祉課所管事業「ほりでーがらん」に東芝ブレイブルーパス東京に協力をいただいたほか、府中市・三鷹市と連携して「三市ラグビーフェスティバル」及び5者協定を締結した東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのホスト試合における「市民招待事業」を実施した。

東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、府中市、三鷹市と連携した「三市ラグビーフェスティバル」及び「市民招待事業」を実施した。

・NTT東日本バドミントン部との連携事業として、NTT東日本バドミントン部地域感謝祭を実施した。

・東京都、障害福祉課等と連携して設置した「調布市障害者スポーツの振興における協議体」の活用による障害当事者の運動機会の確保や、障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めた。

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の取組の方向

東京2020大会を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを活用した事業展開を図り、様々な角度から市民スポーツの振興を図る。

パラリンピックの開催を契機とした障害者スポーツの振興について、障害の有無に関わらず参加できる体験会や観戦事業等を、様々な主体と連携して実施するほか、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用し、障害者のスポーツ機会の創出を図り、スポーツによる共生社会の充実を目指す。また、事業の実施に当たっては、特定財源の活用にも努める。

スポーツボランティアや東京都障害者スポーツ協会が提供している障害者スポーツボランティアの活用を図る。

多摩地域の広域連携事業「町村ポッチャ大会」やラグビー5者協定による三鷹市・府中市・ラグビー2チームとの連携事業の継続開催と充実を図り、地域全体でのスポーツ振興に努めていく。

施策13「市民スポーツの振興」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	51	重点P	—			
	事務事業	F C東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進				総合戦略	●
後期※	計画コード	48	重点P	—			
	事務事業	F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進				総合戦略	●
所管部署 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興係							
<p>事業概要</p> <p>F C東京が行う地域貢献活動を支援し、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等のまちづくりを協働で推進する。 また、東芝プレイブルーパス東京や東京サントリーサンゴリアスと連携したラグビー競技普及事業や、NTT東日本バドミントン部と連携したバドミントン競技普及事業、読売巨人軍と連携した野球競技普及事業等、それぞれの主体のノウハウを活用した事業展開を図り、市民スポーツの振興を推進する。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○プロスポーツチームや選手等に親しむ機会を多くつくり、市民のスポーツへの意欲・関心を高める ○スポーツ振興に加え、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域振興等のまちづくりのための連携事業の実施 ○連携強化のため、定期的な交流の場を設ける	○サッカー教室の実施 ・子どもサッカー体験教室 ○あおぞらサッカー交流会の実施 ○指導者講習会の開催 ○F C東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催 ○F C東京に関する市民へ情報発信 ○地域のスポーツチームと連携した取組	○サッカー教室の実施 ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室  ○指導者講習会の開催 ○ホームタウン6市連携事業の実施  ○調布市オリジナルフラッグの作成・掲出 ○地域のスポーツチームやアスリートと連携した取組	○サッカー教室の実施 ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室  ○指導者講習会の開催 ○F C東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催 ○F C東京に関する市民への情報発信 ○地域のスポーツチームと連携した取組	○サッカー教室の実施 ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室  ○指導者講習会の開催 ○F C東京との情報交換や事業検討のための会議の定期的開催 ○F C東京に関する市民への情報発信 ○地域のスポーツチームと連携した取組
事業費（千円）		2,609	2,000	2,625
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
-----------	-------------------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------	---

説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F C東京と連携したスポーツ振興を図るため、庁内のプロジェクトチームや庁内関係部署との情報交換会を活用し子どもサッカー体験教室や初心者フットサル教室等のスポーツ分野の事業のみならず、青少年の健全育成、文化、福祉、地域活性化等の様々な分野でF C東京との連携事業を実施した。とりわけ、ホームゲーム開催に併せて「青赤ストリート」を開催し、地域一体となって試合を盛り上げ、地域の活性化を図った。</li> <li>・ 東芝プレイブルーパス東京、サントリーサンゴリアス東京と連携し、市民スポーツの振興を図った。</li> <li>・ 読売巨人軍やNTT東日本バドミントン部など各種スポーツ団体とも連携した事業を実施した。</li> </ul>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 財政面改善	<input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	------------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

今後の取組の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F C東京等様々な主体との連携事業の拡充や、ノウハウの活用により、様々な分野での課題解決を図るとともに市の魅力発信へ繋げる。</li> <li>・ F C東京との連携においては、青赤ストリートなど、地域も巻き込んだ取組の更なる充実、子どもサッカー体験教室等の人気の高い事業の継続とともに、大人向け初心者フットサル教室等の新たな事業も継続するほか、関連各課との連携事業を含め、様々な世代のスポーツ振興を図る。また、今後もF C東京との定期的な情報交換の機会や、庁内プロジェクト・チームを活用し、事業費の活用方法の工夫を含め、より効果的な事業の実施に努めていく。さらには、F C東京ホームタウン6市との連携事業の充実を図り、地域一体となったスポーツ振興を図る。</li> <li>・ 5者協定を締結している東芝プレイブルーパス東京や東京サントリーサンゴリアス、また読売巨人軍やNTT東日本バドミントン部との連携を深め、各種事業を充実させることにより、市民スポーツの振興を図る。</li> </ul>
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------